

2017-B

III 7B

拠出金・基金  
の名称 ユネスコ事業等拠出金

種 別  イヤマークのみ  一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】国連教育科学文化機関(UNESCO)

【所管官庁担当局課・室名】文部科学省国際統括官付

【当該任意拠出金の目的・用途等】

世界平和の確立と人類の福祉への貢献というユネスコの理念の実現に向け、我が国が国際社会において主導的役割を果たすために、ユネスコへの拠出金を通じて、加盟国に対する教育、科学、文化、情報コミュニケーション分野における協力事業を実施する。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千 円)	レ ー ト	ODA率(%)
平成29年度	255,842	476	203462	1米ドル=110円	12
平成28年度	243,474	476	186333	1米ドル=120円	11
平成27年度	274,380	476	222000	1米ドル=110円	12

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

ユネスコは、教育、科学、文化、情報コミュニケーションの分野を通じて、国際社会の平和と安全に貢献することを目的とし、「人の心に平和の砦を築く」という精神に共感して我が国が戦後最初に加盟した国連機関である。その重要性を高く評価し、政府としても積極的に参加・協力してきた。松浦事務局長(1999年～2009年)の下でユネスコの諸改革が行われ、その改革路線は現在も継承されている。また、我が国は1952年以降、連続してユネスコ執行委員会の委員国を務め、ユネスコの政策に意見を反映させるよう努めている。

ユネスコへの信託基金については、その拠出を通じて、世界平和の確立と人類の福祉への貢献というユネスコの理念に貢献することで、日本が国際社会において主導的役割を果たすことを目指すものである。また、財政上の課題を抱えるユネスコに対して、信託基金を継続的に拠出するとともに、より効果的・効率的な信託基金事業の実施を図り、我が国としての貢献及びプレゼンスを示す必要がある。

【備考】